

# 第52回定時総会議案書

平成27年6月12日（金）

ホテルキャッスルプラザ

公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

## 第1号議案その1

# 平成26年度 JPI 中部支部事業報告

## 第1 諸会議

- 1) 第51回 定時総会 6月 3日 (火) ホテルキャッスルプラザ
- 2) 第51回 役員会 5月21日 (水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 3) 第1回 運営委員会 5月 9日 (金) ホテルキャッスルプラザ  
(第3回 JPI 中部支部設立50周年記念事業実行委員会)
- 第2回 運営委員会 9月26日 (金) ホテルキャッスルプラザ
- 第3回 運営委員会 平成27年3月20日 (金) ホテルキャッスルプラザ
- 4) 第50期 包装管理士講座講師打合せ  
平成27年2月13日 (金) ホテルキャッスルプラザ

## 第2 事業

### 1. 研究会活動

#### 1) 研究例会

##### (1) 包装資材研究例会 (参加者84名)

～レーザー・マーキング法の応用と緩衝材の開発および  
レンゴーにおける省資源型ダンボールの開発～

平成26年6月26日 (木)

愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 11階1103会議室  
コーディネーター

愛電商事株式会社 業務事業部 物流担当部長 前川 銑一 氏

ホーユー株式会社 桜が丘製造部品質保証課長 (包装管理士) 高見 昭寛 氏

##### ① 「レーザーマーキングシステムによるパッケージデザイン展開」

ダイナパック株式会社 営業本部 企画設計部 主事 (包装管理士) 北村 潤一郎 氏

##### ② 「フリーサイズクッションの開発」

アイロップ株式会社 包装技術部 部長 大下 正人 氏

##### ③ 「環境を考慮した最近の段ボール包装」

レンゴー株式会社 包装技術部 大阪包装技術センター 部長代理 熊谷 知久 氏

##### (2) 輸送包装研究例会 (参加者98名)

～段ボール箱の擦れキズ再現試験およびTOTO(株)における包装改善事例～

平成26年7月24日 (木)

愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 11階1103会議室  
コーディネーター

京セラドキュメントソリューションズ(株) 技術本部プリンター統括技術部

第25技術部 責任者 (包装専士) 瀬戸上 裕 氏

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室

主任研究員 佐藤 幹彦 氏

##### ① 「段ボール箱の擦れキズ再現試験の新たな試み」

アイデックス株式会社 営業技術部 千田 詠介 氏

##### ② 「お客様へ製品を大切にお渡しするための包装技術」

TOTO株式会社 ウォシュレット生産本部 上席技師 (包装管理士) 岡崎 義和 氏

(3) 生活者包装研究例会（参加者41名）

～異物管理と防虫対策および凸版印刷の軟包装と複合容器の開発について～  
平成26年9月18日（木）

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室

コーディネーター

エーザイ株式会社 エーザイジャパン CJ部技術センター

川島研究室 担当課長（包装専士） 笹田 敬史 氏

笹徳印刷株式会社 編集製作本部 本部長（包装管理士） 近藤 浩一 氏

① 「異物混入対策：異物管理と防虫対策について」

ロンファームリサーチ代表 三重県健康福祉部メデイカルサポーター

薬学博士 長谷川 正樹 氏

② 「パッケージソリューション～軟包装及び複合容器の開発について～」

凸版印刷株式会社 生活環境事業本部 商品開発部 島村 悦夫 氏

(4) 包装技術研究例会（参加者53名）

～船舶輸送および鉄道輸送における輸送品質向上のための取り組み～  
平成26年10月23日（木）

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室

コーディネーター

NGKロジスティクス株式会社 業務部副部長 矢島 泰人 氏

名港海運株式会社 営業第2部 部長 山口 淳 氏

① 「船舶内貨物の挙動調査と再現試験を通じた梱包材の擦れ評価」

神鋼物流株式会社 安全・技術部 技術室 西田 美歩 氏

② 「鉄道貨物輸送の現状と輸送品質の取り組み」

日本貨物鉄道株式会社 鉄道ロジスティクス本部 営業統括部

営業部 担当部長 今橋 一樹 氏

(5) 包装技術講習会（参加者64名）

平成26年11月11日（火）

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）12階1203会議室

共催：あいち産業科学技術総合センター

コーディネーター

中津川包装工業株式会社

営業本部西部・関西販売推進部 部長（包装管理士） 大山 孝一 氏

あいち産業科学技術総合センター

産業技術センター 環境材料室 室長 中莖 秀夫 氏

① 「段ボール用抜き木型について」

合資会社水野木工ミシン透彫工業所 専務 水野 和夫 氏

② 「トラック・鉄道輸送におけるリスク管理と新たな対策の提案」

全国農業協同組合連合会 営農販売企画部 営農・技術センター

生産資材研究室 包装管理士 打田 宏 氏

2) 講演会

(1) 中部支部設立50周年記念講演会（参加者137名）

平成26年6月3日（火） ホテルキャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」

「ロボット宇宙飛行士に宿した日本人の和の心」

3) 見学会 (参加者37名)

平成26年9月10日(水)

- ① 東洋製罐株式会社 静岡工場  
静岡県牧之原市白井622-8  
「ペットボトル製造工程」
- ② ハウス食品株式会社 静岡工場  
静岡県袋井市新池524-1  
「レトルト食品の製造工程」

4) 第54回包装技術研究大会中部大会 (参加者124名)

平成27年2月17日(火)

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階1103会議室  
コーディネーター

- 三菱電機株式会社 名古屋製作所 営業部 物流グループマネージャー 中山 芳郎 氏  
ダイナパック株式会社 営業本部 企画設計部  
企画設計グループ 課長(包装管理士) 山邊 哲久 氏  
東海漬物株式会社 漬物機能研究所 商品開発グループ 主事(包装専士) 岩田 峰司 氏  
トヨタ自動車株式会社 物流準備計画室 包装技術Gグループマネージャー 大槻 明夫 氏
- ① 「装飾LED電球 化粧箱 荷姿改善」  
株式会社チューゲン 第1営業部 営業1課(包装管理士) 三輪田 将平 氏
  - ② 「ロール製品の安全・品質・環境を考えた包装改善」  
日東電工株式会社 情報機能材料事業部門 製造2課(包装管理士) 藤田 浩二 氏
  - ③ 「自動車アルミ部品の包装荷姿改善」  
(株)ホンダロジスティクス 静岡事業所 物流部 KD包装課(包装管理士) 神谷 真史 氏
  - ④ 「断熱玄関ドア 扉ユニットの包装改善」  
YKK AP(株) 生産本部 黒部荻生製造所ドア製造課(包装管理士) 石井 琢磨 氏
  - ⑤ 「フィルムの二重包装による生鮮食品の最適空間の設計」  
フタムラ化学株式会社 フィルム事業部 開発チーム 係長(包装専士) 花市 岳 氏
  - ⑥ 「ペットボトル飲料における鉄道コンテナ輸送時の  
カートン損傷防止対策のご紹介」  
キリンビバレッジ株式会社 生産本部 技術部 部長代理 吉井 孝平 氏
  - ⑦ 特別講演「東南アジアの物流リスクと海上保険」  
三井住友海上火災保険株式会社 名古屋企業第二部 海上課長 内山 亮 氏

5) 第28回包装研究懇話会(参加者24名)

平成27年3月4日(水)

見学施設 親和パッケージ(株) シンワ包装試験センター

2. 研修活動

(1) 第24回包装設計の基礎講座(受講者42名)

平成26年5月22、23日(木、金)

愛知県技術開発交流センター 交流会議室

第1日目

<包装概論>

(1) 包装の社会的役割 (2) ヤマハの海外生産における包装の考え方

ヤマハ株式会社 物流システム部 企画推進室 課長 (包装管理士) 小澤 秀人 氏  
〈段ボール箱の基礎と応用〉

(1) 段ボールの構造と原紙種類 (2) 段ボール箱の規格と製造工程 (3) 箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 企画設計部設計管理グループ課長 (包装管理士) 下山 公章 氏  
〈段ボール箱の設計〉

(1) 段ボール箱の設計手順 (2) 段ボール箱の設計要因と劣化要因 (3) 箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 企画設計部設計管理グループ課長 (包装管理士) 下山 公章 氏  
〈緩衝包装設計〉

(1) 緩衝包装の目的 (2) 緩衝材の種類と特徴 (3) 緩衝性能と緩衝設計技法

旭化成ケミカルズ株式会社 樹脂製品技術開発部 主査 (包装管理士) 高田 幹生 氏  
〈プラスチック系包装材料の基礎知識〉

(1) プラスチック系包装材料の種類と機能 (2) 環境対応の新材料 (3) 包装材料への法規制

株式会社アイセロマーケティング本部マネージャー (包装管理士) 鈴木 宏昌 氏  
第2日目

〈包装試験の目的と試験法〉

包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

〈包装試験施設の見学〉

包装試験関連施設 (衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など) の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 物流技術担当

〈最適包装設計の考え方〉

(1) 包装設計で考慮すべき項目 (2) 製品強度と包装設計 (3) 最適包装と環境配慮包装

上海新通联包装股份有限公司 总经理助理 (包装専士) 杉山 貴司 氏  
〈積載効率を上げる集合包装〉

(1) 集合包装の目的 (2) 集合包装の重要性とユニットロード (3) 日東電工の集合包装事例

日東電工株式会社 基盤機能材料事業部門 戦略統括本部製造統括部

製造企画部長 (包装管理士) 八東 伸明 氏

〈包装改善とロジスティクス〉

(1) ロジスティクスとは (2) ロジスティクスの中での包装の役割 (3) グローバル化と包装

日産自動車株式会社 SCM 本部

副本部長 兼 部品物流エンジニアリング部長 安藤 康行 氏

(2) 第49期包装管理士講座

(受講者70名) 輸送包装コース46名、生活者包装コース24名

・オリエンテーション

平成26年6月4日(水)～6日[金]

ロワジールホテル豊橋

・材料教科 (輸送包装—生活者包装/共通教科)

平成26年6月18日(水)～20日(金)

愛知県産業労働センター

・生活者包装コース

平成26年7月1日(火)～4日(金)

愛知県産業労働センター

・輸送包装コース

平成26年7月8日(火)～10日(木)

愛知県産業労働センター

平成26年7月11日(金)

愛知県技術交流センター

・ケーススタディー/面接試験

平成26年9月3日(水)～5日(金) ロワジールホテル豊橋

・第49期包装管理士講座合格証書授与式

平成26年10月17日(金) メルパルク名古屋 2階「羽衣の間」

3. 会員交流活動

- 1) 中部支部設立50周年記念式典および記念祝賀会(参加者137名)  
平成26年6月3日(火) ホテルキャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」
- 2) 第49期包装管理士交流懇親会(参加者88名)  
平成26年10月17日(金) メルパルク名古屋 3階「サルビアの間」
- 3) 中部支部設立50周年会員交流会(参加者25名)  
平成26年10月28日(火)
- 4) 2015年中部包装界新年賀詞交歓会(参加者159名)  
平成27年1月14日(水) ホテルキャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」

4. その他関連事業

- 1) 東京パック2014  
平成26年10月7日(火)～10日(金) 東京ビッグサイト
- 2) 第52回全日本包装技術研究大会 札幌大会  
平成26年11月20日、21日(木、金) 札幌コンベンションセンター

### 第3 組織

会員動勢（平成26年4月1日～平成27年3月31日）は次の通りである。

#### <会員登録動勢一覧>

	平成26年 4月1日		本年度		平成26年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1,174		85	61	1,198
法人	977		69	47	999
(口数)	(1,000)		(69)	(47)	(1,022)
個人	174		15	13	176
特別会員	23		1	1	23
登録員数	法人	977社 2,573名	69社 206名	47社 108名	999社 2,671名
	個人	174名	15名	13名	176名
	合計	2,747名	221名	121名	2,847名
関東支部	法人	1,492	137	66	1,563
	個人	98	5	6	97
関西支部	法人	527	28	18	537
	個人	31	6	3	34
中部支部	法人	372	30	10	392
	個人	23	4	4	23
西日本支部	法人	94	8	10	92
	個人	7	0	0	7
北海道支部	法人	42	3	0	45
	個人	1	0	0	1
東北支部	法人	46	0	4	42
	個人	14	0	0	14

注) 中部支部の法人会員(392名)の内訳について

中部地区登録会員 132社 310名

関東支部から 49社 53名

関西支部から 25社 27名

東北支部から 1社 1名

西日本支部 1社 1名

## 第2号議案その1

# 平成27年度 J P I 中部支部事業計画 (案)

### 第1 諸会議

- |                      |           |                 |
|----------------------|-----------|-----------------|
| 1) 第52回 定時総会         | 6月12日 (金) | ホテルキャッスルプラザ     |
| 2) 第52回 役員会          | 6月2日 (火)  | 名古屋マリオットアソシアホテル |
| 3) 第1回 運営委員会         | 9月11日 (金) | ホテルキャッスルプラザ     |
| 第2回 運営委員会 (未定) 28年3月 |           | ホテルキャッスルプラザ     |
| 4) 第51期 包装管理士講座講師打合せ | (未定)      | ホテルキャッスルプラザ     |

### 第2 事業

#### 1) 研究会活動

##### (1) 研究例会

- |            |            |             |
|------------|------------|-------------|
| ①包装資材研究例会  | 6月24日 (水)  | 愛知県産業労働センター |
| ②輸送包装研究例会  | 7月23日 (木)  | 愛知県産業労働センター |
| ③生活者包装研究例会 | 9月16日 (水)  | 愛知県産業労働センター |
| ④包装技術研究例会  | 10月22日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| ⑤包装技術講習会   | 11月12日 (火) | 愛知県産業労働センター |

- |               |           |             |
|---------------|-----------|-------------|
| (2) 定時総会記念講演会 | 6月12日 (金) | ホテルキャッスルプラザ |
|---------------|-----------|-------------|

- |         |    |    |
|---------|----|----|
| (3) 見学会 | 9月 | 未定 |
|---------|----|----|

- |                      |              |             |
|----------------------|--------------|-------------|
| (4) 第55回包装技術研究大会中部大会 | 28年2月18日 (木) | 愛知県産業労働センター |
|----------------------|--------------|-------------|

- |                 |       |    |
|-----------------|-------|----|
| (5) 第29回包装研究懇話会 | 28年3月 | 未定 |
|-----------------|-------|----|

#### 2) 研修活動

- |                   |                |               |
|-------------------|----------------|---------------|
| (1) 第25回包装設計の基礎講座 | 5月21、22日 (木、金) | 愛知県技術開発交流センター |
|-------------------|----------------|---------------|

- |                 |       |                            |
|-----------------|-------|----------------------------|
| (2) 第50期包装管理士講座 | 6月～9月 | ロワジールホテル豊橋<br>愛知県産業労働センター他 |
|-----------------|-------|----------------------------|

- |                        |            |             |
|------------------------|------------|-------------|
| (3) 第50期包装管理士講座合格証書授与式 | 10月16日 (金) | ホテルキャッスルプラザ |
|------------------------|------------|-------------|

- |                   |           |             |
|-------------------|-----------|-------------|
| 3) 第52回 定時総会会員交流会 | 6月12日 (金) | ホテルキャッスルプラザ |
|-------------------|-----------|-------------|

- |                     |            |             |
|---------------------|------------|-------------|
| 4) 第50期包装管理士歓迎交流懇親会 | 10月16日 (金) | ホテルキャッスルプラザ |
|---------------------|------------|-------------|

- |                      |              |             |
|----------------------|--------------|-------------|
| 5) 2016年中部包装界新年賀詞交歓会 | 28年1月13日 (水) | ホテルキャッスルプラザ |
|----------------------|--------------|-------------|

- |                        |                    |  |
|------------------------|--------------------|--|
| 6) 第53回全日本包装技術研究大会福岡大会 | 11月19日 (木)、20日 (金) |  |
|------------------------|--------------------|--|

共創館カンファレンス

### 第3号議案

## 役員の退任及び新任に関する件（案）

（敬称略）

1. 副支部長並びに役員を、次の通り退任及び新任したい。

### （1）退任

副支部長	伊藤 俊治	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター長
役員	石井 斉	ホーユー株式会社 生産・物流本部取締役常務執行役員本部長
役員	大坪 宜史	トヨタ自動車株式会社 サービス・パーツ物流部物流準備計画室長
役員	羽根 博巳	財団法人中部生産性本部 専務理事
監事	梶浦 宏男	株式会社チューゲン 代表取締役社長

### （2）新任

副支部長	大野 博	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター長
役員	大関 正道	一般財団法人中部生産性本部 専務理事
役員	大橋 正典	ホーユー株式会社 生産・物流本部取締役常務執行役員本部長
役員	新津 重人	株式会社チューゲン 代表取締役社長
役員	百瀬 和典	トヨタ自動車株式会社 サービス・パーツ物流部物流準備計画室長
監事	神谷 修	刈谷紙器株式会社 代表取締役社長

## 平成27年度中部支部役員（案）

（敬称略50音順）（○印：新役員）

支 部 長	牧野 渉	株式会社アイゼロ	代表取締役社長
顧 問	平手 正美	NGKロジスティクス株式会社	代表取締役社長
	山崎 秀嗣	（元）株式会社デンソーロジテム	
副支部長	伊藤 清	名港海運株式会社	取締役副社長
	○大野 博	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター長
役 員	井上 和俊	フタムラ化学株式会社	常務取締役
	○大関 正道	一般財団法人中部生産性本部	専務理事
	大辻 誠	中津川包装工業株式会社	代表取締役社長
	○大橋 正典	ホーユー株式会社	生産・物流本部取締役常務執行役員本部長
	尾崎 志郎	株式会社Mizkan Sanmi-pro	生産物流本部 仕入統括部次長
	近藤 裕之	（株）デンソーロジテム	第一業務本部 取締役本部長
	齊藤 光次	ダイナパック株式会社	代表取締役副社長
	杉山 卓繁	笹徳印刷株式会社	代表取締役社長
	都島 嘉孝	NGKロジスティクス株式会社	常務取締役
	○新津 重人	株式会社チューゲン	代表取締役社長
	藤原 諭	レンゴー株式会社 <sup>ハッケーゾングレヒンジョン</sup> 段ボール部門 理事 中部事業部長	
	見田 昌隆	見田工作株式会社	代表取締役社長
	○百瀬 和典	トヨタ自動車株式会社	サービスパーツ物流部物流準備計画室長
	盛田 智	株式会社アイゼロ	常務取締役マーケティング本部長
	吉澤 一幸	東海漬物株式会社	常務取締役漬物機能研究所長
	渡邊 幸次	株式会社フジキカイ	常務取締役営業本部長
監 事	大澤 勝弘	浅野段ボール株式会社	代表取締役社長
	○神谷 修	刈谷紙器株式会社	代表取締役社長

## 平成27年度中部支部運営委員（案）

（敬称略50音順）（○印：新運営委員）

委員長	都島 嘉孝	NGKロジスティクス株式会社	常務取締役
副委員長	盛田 智	株式会社アイセロ	常務取締役マーケティング本部長
委員	○荒井 貞裕	愛電商事株式会社	業務事業本部物流部 担当部長
	○伊藤 秀樹	リスパック株式会社	技術開発本部技術開発部 主席
	井上 知木	見田工作株式会社	取締役物流グループ担当部長
	岩田 峰司	東海漬物株式会社	漬物機能研究所商品開発グループ 主事
	海老塚豊実	株式会社 Mizkan Sanmi-pro	生産物流本部仕入統括部調達2課専任課長
	大槻 明夫	トヨタ自動車株式会社	カーヒースパーツ物流部物流準備計画室グループマネージャー
	大浜 剛	アイシン精機株式会社	生産管理部物流管理グループ チームリーダー
	大山 孝一	中津川包装工業株式会社	西部・関西販売推進部長
	加納 隆司	株式会社エイトテクノロジー	代表取締役社長
	神谷 強	刈谷紙器株式会社	代表取締役専務
○倉知 真治	株式会社チューゲン	代表取締役専務	
	後藤 嘉信	フタムラ化学株式会社	フィルム営業企画部企画グループリーダー
	近藤 浩一	笹徳印刷株式会社	執行役員編集制作本部長
	笹田 敬史	エーザイ株式会社	CJ 部技術センター川島研究室 テレクター
○澤田 幸美	ダイナパック株式会社	開発本部カスタマーソリューションセンター中部 部長代理	
	瀬戸上 裕	京セラドキュメントソリューションズ(株)	技術本部プリンター統括技術部第25技術部責任者
	高見 昭寛	ホーユー株式会社	桜が丘製造部品品質保証課長
	富田 茂樹	三菱重工業株式会社	冷熱事業部空調輸冷製造課長
○戸倉 浩二	YKK AP 株式会社	生産本部品質管理室包装改善チームリーダー	
○石川 敬一	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター環境材料室長	
	中山 芳郎	三菱電機株式会社	営業部物流グループ マネージャー
	深村 英明	ヤマハ発動機株式会社	物流・安全貿易部物流技術・梱包グループ 主査
	矢島 泰人	NGK ロジスティクス株式会社	業務部副部長
	山口 淳	名港海運株式会社	営業第2部長
	吉田 将之	浅野段ボール株式会社	取締役名古屋事業所長

# 公益社団法人日本包装技術協会

## 中部支部規則

(名称および事務局)

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

(目的)

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1) 正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2) 特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

(役員および任期)

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 若干名
- (3) 役員 若干名
- (4) 監事 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

監事は本会の業務および会計を監査する。

- 第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。
2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。
  3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

(運営委員会)

- 第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。
2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。
  3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

(総会)

第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。

第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。  
可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業年度)

第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定  
昭和56年5月29日改正  
平成8年8月1日改正  
平成22年10月12日改正  
平成23年11月1日改正  
平成24年5月17日改正

## 貸借対照表内訳表

平成 27 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：公益社団法人日本包装技術協会

(単位： 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内 部 取 引 消 去
<b>I 資 産 の 部</b>				
<b>流 動 資 産</b>				
現 金 預 金	0	0	79,225,865	0
未 収 金	10,248,997	3,824,136		
法 人 会 計	30,141,112	4,734,597		△34,875,709
前 払 金	914,940			
書 籍 在 庫		1,905,128		
貯蔵品50周年白書	415,938			
流動資産合計	41,720,987	10,463,861	79,225,865	△34,875,709
<b>固 定 資 産</b>				
<b>特 定 資 産</b>				
役員退職慰労積立預金	16,986,518	1,203,133	648,175	
職員退職給与積立預金	57,389,194	3,791,880	1,896,608	
木下賞積立預金	23,820,588			
展示会事業推進準備金	20,000,000			
特定資産合計	118,196,300	4,995,013	2,544,783	0
<b>そ の 他 固 定 資 産</b>				
建物付属設備	2,427,670		217,009	
什 器 備 品	1,155,590		114,763	
保 証 金	54,460,032		4,896,288	
リ ー ス 資 産			6,199,956	
その他固定資産合計	58,043,292	0	11,428,016	0
固定資産合計	176,239,592	4,995,013	13,972,799	0
<b>資 産 合 計</b>	217,960,579	15,458,874	93,198,664	△34,875,709
<b>II 負 債 の 部</b>				
<b>流 動 負 債</b>				
未 払 金	137,801	358,227	230,973	
未 払 費 用			44,685	
公益目的事業会計			30,141,112	△30,141,112
収益事業等会計			4,734,597	△4,734,597
前受金(事業)	21,656,440	1,957,000		
前受金(会費)			33,665,000	
預 り 金			3,163,509	
リ ー ス 債 務			1,261,008	
流動負債合計	21,794,241	2,315,227	73,240,884	△34,875,709
<b>固 定 負 債</b>				
長期未払金			48,456	
役員退職慰労引当金	16,986,518	1,203,133	648,175	
職員退職給付引当金	57,389,194	3,791,880	1,896,608	
リ ー ス 債 務			5,044,032	
固定負債合計	74,375,712	4,995,013	7,637,271	0
<b>負 債 合 計</b>	96,169,953	7,310,240	80,878,155	△34,875,709
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>				
一般正味財産	121,790,626	8,148,634	12,320,509	0
<b>正 味 財 産 合 計</b>	121,790,626	8,148,634	12,320,509	0
<b>負債及び正味財産合計</b>	217,960,579	15,458,874	93,198,664	△34,875,709

## 貸借対照表内訳表

平成 27 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：公益社団法人日本包装技術協会

(単位： 円)

科 目	合 計		
<b>I 資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金預金	79,225,865		
未収金	14,073,133		
法人会計	0		
前払金	914,940		
書籍在庫	1,905,128		
貯蔵品50周年白書	415,938		
流動資産合計	96,535,004		
<b>固定資産</b>			
<b>特定資産</b>			
役員退職慰労積立預金	18,837,826		
職員退職給与積立預金	63,077,682		
木下賞積立預金	23,820,588		
展示会事業推進準備金	20,000,000		
特定資産合計	125,736,096		
<b>その他固定資産</b>			
建物付属設備	2,644,679		
什器備品	1,270,353		
保証金	59,356,320		
リース資産	6,199,956		
その他固定資産合計	69,471,308		
固定資産合計	195,207,404		
<b>資産合計</b>	291,742,408		
<b>II 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金	727,001		
未払費用	44,685		
公益目的事業会計	0		
収益事業等会計	0		
前受金(事業)	23,613,440		
前受金(会費)	33,665,000		
預り金	3,163,509		
リース債務	1,261,008		
流動負債合計	62,474,643		
<b>固定負債</b>			
長期未払金	48,456		
役員退職慰労引当金	18,837,826		
職員退職給付引当金	63,077,682		
リース債務	5,044,032		
固定負債合計	87,007,996		
<b>負債合計</b>	149,482,639		
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産	142,259,769		
<b>正味財産合計</b>	142,259,769		
<b>負債及び正味財産合計</b>	291,742,408		

## 正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人日本包装技術協会

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
特定資産運用益	24,308	30,878	△6,570
特定資産受取利息	24,308	30,878	△6,570
受取入金	750,000	570,000	180,000
入金	750,000	570,000	180,000
受取会費	76,633,000	73,195,000	3,438,000
法人会費	71,764,000	68,344,000	3,420,000
個人会費	4,869,000	4,851,000	18,000
事業収益	708,401,237	507,021,549	201,379,688
研修事業収入	182,697,528	187,539,960	△4,842,432
交流事業収入	3,643,820	2,524,040	1,119,780
普及啓発事業収入	6,553,981	6,009,233	544,748
展示会事業収入	453,193,816	254,943,860	198,249,956
調査研究事業収入	10,532,248	3,662,267	6,869,981
出版事業収入	51,779,844	52,342,189	△562,345
雑収益	1,250,755	1,094,526	156,229
受取利息	53,756	13,895	39,861
雑収益	496,999	380,631	116,368
事務委託収入	700,000	700,000	
經常収益計	787,059,300	581,911,953	205,147,347
經常費用			
事業費	830,602,268	561,196,149	269,406,119
役員報酬	28,120,704	19,864,998	8,255,706
給料手当	109,856,113	115,459,252	△5,603,139
退職給付費用	3,087,605	3,131,997	△44,392
外注人件費	37,694,934	40,057,035	△2,362,101
福利厚生費	23,189,189	22,489,002	700,187
旅費交通費	7,949,056	7,685,793	263,263
通信運搬費	7,661,094	8,360,487	△699,393
減価償却費	1,723,828	1,822,408	△98,580
消費什器備品費	3,669,350	3,156,112	513,238
会議費	2,823,042	2,090,131	732,911
OA費	2,533,803	2,283,905	249,898
印刷製本費	206,456	1,128,005	△921,549
事業活動費	4,058,752	4,229,093	△170,341
貸借料支部	3,048,789	2,976,181	72,608
貸借料東京	42,426,127	40,463,868	1,962,259
諸謝金	8,556,418	8,533,178	23,240
租税公課	72,684	14,291,653	△14,218,969
役員退職慰労引当金繰入額	4,319,413	10,418,617	△6,099,204
職員退職給付引当金繰入額	7,585,340		7,585,340
雑費	1,456,402	1,566,519	△110,117
研修事業費	105,011,232	108,771,637	△3,760,405
交流事業費	21,639,365	29,412,012	△7,772,647
普及啓発事業費	10,432,861	10,128,567	304,294
展示会事業費	352,551,569	65,794,392	286,757,177
調査研究事業費	10,151,744	6,644,874	3,506,870
出版事業費	30,776,398	30,436,433	339,965
管理費	12,874,890	16,559,028	△3,684,138
役員報酬	1,205,796	1,129,002	76,794
給料手当	4,710,553	6,561,982	△1,851,429
退職給付費用	132,395	178,003	△45,608

**正味財産増減計算書**

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人日本包装技術協会  
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	994,337	1,278,131	△283,794
旅 費 交 通 費	340,850	436,811	△95,961
通 信 運 搬 費	328,505	475,163	△146,658
減 価 償 却 費	214,768	282,498	△67,730
リース資産減価償却費	105,084		105,084
消 耗 什 器 備 品 費	157,338	179,373	△22,035
会 議 費	121,050	118,792	2,258
○ A 費	108,649	129,795	△21,146
印 刷 製 本 費	8,854	64,105	△55,251
賃 借 料 東 京	3,775,628	4,320,997	△545,369
保 険 料	157,500		157,500
租 税 公 課	3,116	812,247	△809,131
役員退職慰労引当金繰入額	185,213	592,129	△406,916
職員退職給付引当金繰入額	325,254		325,254
経 常 費 用 計	843,477,158	577,755,177	265,721,981
評価損益等調整前当期経常増減額	△56,417,858	4,156,776	△60,574,634
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△56,417,858	4,156,776	△60,574,634
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	5	2	3
什 器 備 品 除 却 損	5	2	3
経 常 外 費 用 計	5	2	3
当 期 経 常 外 増 減 額	△5	△2	△3
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△56,417,863	4,156,774	△60,574,637
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	198,677,632	194,520,858	4,156,774
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	142,259,769	198,677,632	△56,417,863
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	142,259,769	198,677,632	△56,417,863

＜収支予算の事業別区分経理の内訳表＞

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					収益事業会計 出版	法人会計	合計
	公益1	公益2	公益3	共通	計			
<b>【Ⅰ一般正味財産増減の部】</b>								
<b>(経常増減の部)</b>								
(経常収益)	0	0	0	0	0	0	0	0
(基本財産運用益)	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
(特定資産運用益)	10,000	0	0	0	10,000	0	0	10,000
特定資産受取利息	10,000	0	0	0	10,000	0	0	10,000
(受取入会金)	0	0	0	280,000	280,000	0	70,000	350,000
入会金	0	0	0	280,000	280,000	0	70,000	350,000
(受取会費)	0	0	0	61,584,000	61,584,000	0	15,396,000	76,980,000
法人会費	0	0	0	57,635,200	57,635,200	0	14,408,800	72,044,000
個人会費	0	0	0	3,948,800	3,948,800	0	987,200	4,936,000
(事業収益)	188,296,000	247,000,000	7,800,000	0	443,096,000	50,720,000	0	493,816,000
研修事業収入	180,498,000	0	0	0	180,498,000	0	0	180,498,000
交流事業収入	2,715,000	0	0	0	2,715,000	0	0	2,715,000
普及啓発事業収入	5,083,000	0	0	0	5,083,000	0	0	5,083,000
展示会事業収入	0	247,000,000	0	0	247,000,000	0	0	247,000,000
調査研究事業収入	0	0	7,800,000	0	7,800,000	0	0	7,800,000
出版事業収入	0	0	0	0	0	50,720,000	0	50,720,000
(雑収益)	0	0	0	0	0	0	2,221,000	2,221,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	21,000	21,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000
事務委託収入	0	0	0	0	0	0	1,700,000	1,700,000
(経常収益計)	188,306,000	247,000,000	7,800,000	61,864,000	504,970,000	50,720,000	17,687,000	573,377,000
<b>(経常費用)</b>								
(事業費)(管理費)	294,480,623	171,029,157	49,089,671	0	514,599,451	41,873,248	14,097,301	570,570,000
役員報酬	10,339,385	13,645,670	4,238,209	0	28,223,264	1,726,995	1,249,741	31,200,000
給料手当	38,772,694	51,171,263	15,893,283	0	105,837,240	6,476,231	4,686,529	117,000,000
退職給付費用	1,073,705	1,417,050	440,122	0	2,930,877	179,342	129,781	3,240,000
外注人件費	45,000,000	0	0	0	45,000,000	0	0	45,000,000
福利厚生費	8,764,617	11,567,330	3,592,697	0	23,924,644	1,463,960	1,059,396	26,448,000
旅費交通費	2,813,505	3,713,197	1,153,282	0	7,679,984	469,942	340,074	8,490,000
通信運搬費	2,754,519	3,635,346	1,129,102	0	7,518,967	460,089	332,944	8,312,000
減価償却費	729,324	962,545	298,957	0	1,990,826	0	209,974	2,200,800
消耗什器備品費	1,468,061	1,937,510	601,771	0	4,007,342	245,211	177,447	4,430,000
会議費	1,159,868	1,530,764	475,440	0	3,166,072	193,733	140,195	3,500,000
OA費	1,506,169	1,987,807	617,393	0	4,111,369	251,577	182,054	4,545,000
印刷製本費	666,096	879,096	273,038	0	1,818,230	111,258	80,512	2,010,000
事業活動費	2,900,000	0	0	0	2,900,000	0	0	2,900,000
賃借料A(支部)	3,100,000	0	0	0	3,100,000	0	0	3,100,000
賃借料B(東京)	19,520,794	14,081,111	6,980,317	0	40,582,222	1,803,492	3,614,286	46,000,000
諸謝金	4,610,000	0	0	0	4,610,000	0	0	4,610,000
保険料	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000
租税公課	9,941,716	13,120,837	4,075,201	0	27,137,754	1,660,572	1,201,674	30,000,000
退職給与引当金繰入額(役員)	1,589,528	2,097,821	651,562	0	4,338,911	265,500	192,129	4,796,540
退職給与引当金繰入額(職員)	2,486,642	3,281,810	1,019,297	0	6,787,749	415,346	300,565	7,503,660
雑費	1,535,000	0	0	0	1,535,000	0	0	1,535,000
研修事業費	112,210,000	0	0	0	112,210,000	0	0	112,210,000
交流事業費	12,385,000	0	0	0	12,385,000	0	0	12,385,000
普及啓発事業費	9,154,000	0	0	0	9,154,000	0	0	9,154,000
展示会事業費	0	46,000,000	0	0	46,000,000	0	0	46,000,000
調査研究事業費	0	0	7,650,000	0	7,650,000	0	0	7,650,000
出版事業費	0	0	0	0	0	26,150,000	0	26,150,000
(経常費用計)	294,480,623	171,029,157	49,089,671	0	514,599,451	41,873,248	14,097,301	570,570,000
(評価損益等調整前当期経常増減額)	-106,174,623	75,970,843	-41,289,671	61,864,000	-9,629,451	8,846,752	3,589,699	2,807,000
(評価損益等計)	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期経常増減額)	-106,174,623	75,970,843	-41,289,671	61,864,000	-9,629,451	8,846,752	3,589,699	2,807,000
<b>(経常外増減の部)</b>								
(経常外収益)	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外収益計)	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外費用)	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外費用計)	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期経常外増減額)	0	0	0	0	0	0	0	0
(他会計振替額)	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期一般正味財産増減額)	-106,174,623	75,970,843	-41,289,671	61,864,000	-9,629,451	8,846,752	3,589,699	2,807,000
一般正味財産期首残高					121,790,626	8,148,634	12,320,509	142,259,769
(一般正味財産期末残高)	-106,174,623	75,970,843	-41,289,671	61,864,000	112,161,175	16,995,386	15,910,208	145,066,769
<b>【Ⅱ指定正味財産増減の部】</b>								
(当期指定正味財産増減額)	0	0	0	0	0	0	0	0
(指定正味財産期首残高)	0	0	0	0	0	0	0	0
(指定正味財産期末残高)	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>【Ⅲ正味財産期末残高】</b>	-106,174,623	75,970,843	-41,289,671	61,864,000	112,161,175	16,995,386	15,910,208	145,066,769